

2. プログラム変更要望に対する検討状況一覧(平成24年4月～10月受付)

(4) その他(パッケージソフト、管理資料等)

項番	業務カテゴリ	業務コード	要望内容	検討状況
32	その他	-	NACCSをプラットフォーム化し、NACCSに登録されている情報は利用業種に関係なく、活用できるしくみとしてほしい。	改変規模、及び費用が大きくなることから、対応は困難です。
33	その他	-	NACCSの使用する業務コードについて、有効期限を管理するしくみを設けてほしい。	改変規模、及び費用が大きくなることから、対応は困難です。
34	その他	-	港、空港コードは国連LOCODE、IATAコードに統一し、NACCS独自コードを廃止してほしい。	コードが付与されていないプライベートバース等の対応が必要なことから、NACCS用のコードを無くすことは困難です。
35	その他	-	利用者コードの体系を企業・業種・地域の階層化とし、業務によっては企業略称のみで登録できるようにしてほしい。	改変規模、及び費用が大きくなることから、対応は困難です。
36	その他	-	海外の原産地証明書システムと相互接続し、申告データを証明書発効申請に利用できるようにしてほしい。	関係省庁で、引き続き検討中です。
37	その他	-	海外との間で船積書類(B/L、Waybill情報、インボイス等)をEDIやPDFで送受信できるようにしてほしい。	改善の必要性を含め、具体的な検討が必要なことから、引き続き検討いたします。
38	その他	-	NACCSと銀行間の貿易データのマッチングシステムを連携させてほしい。	改善の必要性を含め、具体的な検討が必要なことから、引き続き検討いたします。
39	その他	-	経済産業省の輸出承認証について、NACCSにより使用実績、残高等の情報を提供してほしい。	関係省庁で、引き続き検討中です。
40	その他	-	NACCSの各業務について、入力項目の名称や入力桁数を統一してほしい。	改善の必要性を含め、具体的な検討が必要なことから、引き続き検討いたします。
41	その他	-	データ変更時に関連するデータベースの整合が取れていない場合があるため、貨物情報データベース、申告情報データベースで共通項目を整理・整合させ、関連するデータベース間でデータの整合性が崩れないようにしてほしい。	改善の必要性を含め、具体的な検討が必要なことから、引き続き検討いたします。

2. プログラム変更要望に対する検討状況一覧(平成24年4月～10月受付)

(4) その他(パッケージソフト、管理資料等)

項番	業務カテゴリ	業務コード	要望内容	検討状況
42	その他	-	通関業者からの諸掛の請求書を統一フォーマット化して、NACCSから入手できるようにしてほしい。	改善の必要性を含め、具体的な検討が必要なことから、引き続き検討いたします。
43	その他	-	関連物流会社(倉庫業者、陸運業者等)にもNACCSから情報を公開し、これらの会社とも連携が図れる利便性の高い仕組みにしてほしい。	改善の必要性を含め、具体的な検討が必要なことから、引き続き検討いたします。
44	その他	-	輸出入者にNACCSの管理統計資料で、輸出入許可情報・納税情報・貨物情報の帳票サービスを提供してほしい。また実行関税率表等は自社システムに取り込めるようにしてほしい。	改善の必要性を含め、具体的な検討が必要なことから、引き続き検討いたします。
45	その他	-	NACCSから配信される管理統計資料について、システム間接続による配信サービスを行ってほしい。また自社システムでも取り込めるように、XML電文等で配信してほしい。	改善の必要性を含め、具体的な検討が必要なことから、引き続き検討いたします。
46	その他	-	利用資格移管(RSI)業務について、使い勝手を向上してほしい。また荷主、港、本船等ごとに情報を絞り込んで呼び出し、まとめて登録可能にする等、荷主業務に限らず、NACCS全般で見直してほしい。	改善の必要性を含め、具体的な検討が必要なことから、引き続き検討いたします。
47	その他	-	JETRASIにおいて、貨物の該非判定支援サービスを提供してほしい。	該非判定は申請者様の責任において判断するものとなりますので、対応できません。また、実現性の観点からも、該非判定をシステム化することは困難です。
48	その他	IDA	輸入申告事項登録(IDA)業務について、PageDownキーでカーソルが先頭の入力項目欄に移動するようにしてほしい。	改善の必要性を含め、具体的な検討が必要なことから、引き続き検討いたします。